

令和7年度（2025年度）

横須賀市立追浜中学校

年間指導計画

1 学年



年間指導計画の見方

1. 単元名と指導事項

- 各教科で学ぶ単元名を記載しています。
- 単元でどのようなことを学び、どのような力を身につけて欲しいか(＝指導事項)を観点別に記載しています。

2. 学習教材と学習時期

- 単元でどのような教材(教科書の内容)を使用するかを記載しています。
- 各単元がどの時期(前期・後期)に学習するのかを記載しています。

3. 各観点について

- 「知識・技能」「思考・判断・表現」については指導事項の欄を参考にしてください。
- 「主体的に学習に取り組む態度」については、単元全体を通して、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価をします。
- 各単元の詳細については、授業で配布される「学びのプラン」を参考にしてください。

1年 国語科 年間指導計画			学習教材																							
			前期												後期											
			野原はうたう朝のリリース	はじまりの風	大きな根？ダイコンは	立ち止まってちよつと	空の詩三篇	言葉の世界 比喩で広がる	情報収集の達人になろう	読書を楽しむ	かった弟たちに大人になれな	星の花が降るころに	シジュウカラ言葉をもつ鳥	いろは歌	竹取物語	今に生きる言葉	不便の価値を見つめ直す	えて話し合おう話題や展開を捉	研究の現場にようこそ	少年の日の思い出	二十歳になつた日	文法	読書活動	表現技法	方言と共通語	書写
観点																										
知識・技能	（１）言葉の使い方に關する事項	音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。	○	○							○						○									
		小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300 字程度から400字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
		事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
		単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。																			○					
		比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。	○				○	○					○							○	○			○		
	扱（へ）つて情報する事項	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。	○	○	○				○			○					○	○								
		比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。		○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○						○			
		（３）我が国の言語文化に關する事項	音読に必要な文語の決まりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。											○	○	○										
			古典には様々な種類の作品があることを知ること。											○	○	○										
			共通語と方言の果たす役割について理解すること。										○												○	
書写(ア)字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。																								○		
書写(イ)漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。																								○		
読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。								○													○					
思考・判断・表現	A 話すこと・聞くこと	目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。		○		○	○				○						○									
		自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。									○			○	○											
		相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。		○							○							○								
		必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。			○							○										○				
		話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。				○						○					○									
	B 書くこと	目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。				○					○												○			
		書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。					○					○											○			
		根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。																		○			○			
		読み手の立場に立って、表現や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。																			○		○			
		根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。																			○		○			
	C 読むこと	文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。			○	○						○					○						○			
		場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。		○							○	○			○					○	○					
		目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。		○	○	○						○	○	○						○	○					
		文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。		○			○													○	○					
		文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。							○						○	○	○			○	○					

1年社会科 年間指導計画				学習教材																
				前期							後期									
				世界の姿	日本の姿	人々の生活と環境	アジア州	ヨーロッパ州	アフリカ州	北アメリカ州	南アメリカ州	オセアニア州	歴史のとらえ方と調べ方	人類の登場から文明の発生へ	東アジアの中の倭	中国にならった国家づくり	展開する天皇・貴族の政治	武士の世の始まり	武家政権の内と外	人々の結びつきが強まる社会
領域	単元	観点	指導事項																	
地理	世界と日本の地域構成	知識技能	緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に世界の地域構成を大観し理解すること	○	○	○														
			我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などをもとに大観し理解すること	○	○	○														
		思考判断表現	世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること	○	○	○														
			日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること	○	○	○														
	世界のさまざまな地域	知識技能	人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解すること				○	○	○	○	○									
			世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解すること。その際、世界の主な宗教の分布についても理解すること				○	○	○	○	○									
		思考判断表現	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること				○	○	○	○	○									
歴史	歴史との対話	知識技能	年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解すること									○								
			資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けること										○							
		思考判断表現	時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現すること。										○							
	古代までの日本	知識技能	世界の古代文明や宗教のおこりについて理解すること										○	○	○	○				
			日本列島における国家形成と律令国家の形成について理解すること											○	○	○	○			
			古代の文化と東アジアとの関わりについて理解すること											○	○	○	○			
		思考判断表現	古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること											○	○	○	○			
			古代までの日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現すること											○	○	○	○			
	中世の日本	知識技能	武家政治の成立とユーラシアの交流について理解する														○	○	○	○
			武家政治の展開と東アジアの動きについて理解する														○	○	○	○
			民衆の成長と新たな文化の形成について理解する														○	○	○	○
		思考判断表現	武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること														○	○	○	○
			中世の日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現すること														○	○	○	○

[illegible]

1年音楽科年間指導計画				学習教材									
				前・後期			後期			前・後期			
				歌唱	合唱	S R ・ A R	箏	三味線	和太鼓	リズム創作	旋律創作	鑑賞	楽典
領域	単元	観 点	指導事項										
A 表 現	歌唱・合唱	知識技能	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを考える	○	○								
			声の音色や響き及びことばの特性と曲種に応じた発声について知る		○								
			創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける	○	○								○
			創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける		○								
		思考判断表現	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現の創意工夫を考える	○	○								○
	器楽	知識技能	曲想と音楽の構造との関わりについて知る			○	○						○
			楽器の音色や響きと奏法との関わりについて知る			○	○						
			創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法・身体の使い方などの技能を身に付ける			○	○						
			創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける			○							
		思考判断表現	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現の創意工夫について考える			○	○						
	創作	知識技能	音のつながり方の特徴について知る							○			
			音素材の特徴及び音の重なり方や反復・変化・対照などの構成上の特徴について知る							○			
			創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける							○			
		思考判断表現	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら創作表現の創意工夫をし表現につなげる							○			
B 鑑 賞	鑑賞	知識技能	曲想と音楽の構造との関わりについて知る	○	○	○				○		○	
			音楽の特徴とその背景となる文化や歴史・他の芸術との関わりについて知る	○			○			○		○	
			我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について学ぶ	○			○					○	
		思考判断表現	曲や演奏に対する評価とその根拠について考える	○	○	○	○			○		○	
			生活や社会における音楽の意味や役割について知る	○	○	○						○	
			音楽表現の共通性や固有性について知る	○	○	○						○	
共通事項		知識技能	音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わせて理解し表現へとつなげる	○	○	○				○		○	○
		思考判断表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考える	○	○	○				○		○	○

1年美術科 年間指導計画				学習教材				
				前期			後期	
				色彩の基本	技法	切り絵	文字デザイン	工芸
領域	単元	観点	指導事項					
A 表現	絵画・彫刻	知識技能	形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。	○	○	○		
			造形的な特徴をもとに、全体のイメージや作風などで全体をとらえることを理解すること。			○		
			材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。		○			
			材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。			○		
	デザイン・工芸	思考判断表現	対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。			○		
		知識技能	形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。	○			○	
			造形的な特徴をもとに、全体のイメージや作風などで全体をとらえることを理解すること。				○	
		思考判断表現	構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること。					○
			伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。				○	
B 鑑賞	造形的なよさ・美しさ	知識技能	形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。			○		
		思考判断表現	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。			○		
			目的や機能との調和のとれた美しさをなど感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方感じ方を広げること。				○	
	見方・感じる方を広げる	知識技能	形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。					○
		思考判断表現	身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。			○		
			身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。					○

1年保健体育科 年間指導計画			学習教材																	
			前期										後期							
領域	観点	指導事項	体ほぐし運動	を体運高のめめる動き	短距離・リレー	長距離	クロール	平泳ぎ	背泳ぎ	ボウフラット	保健	バレーボール	サッカー	トバースケツ	ボハンド	マツト運	剣道	保健		
体つくり運動	知識技能 思考判断表現 主体的に学習に取り組む態度	手軽な運動を行い、心と体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合うこと。	○																	
		ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行うとともに、それらを組み合わせること。		○																
		自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	○	○																
		体つくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとすること。	○	○																
		一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする事。	○	○																
		話合いに参加しようとする事。	○	○																
陸上競技	知識技能 思考判断表現 主体的に学習に取り組む態度	滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせること。			○															
		ベースを守って走ること。				○														
		リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すこと。					○													
		陸上競技の各種目において用いられる技術の名称があり、それぞれの技術で動きのポイントがあること。				○	○													
		動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。				○	○													
		陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする事。				○	○													
水泳	知識技能 思考判断表現 主体的に学習に取り組む態度	分担した役割を果たそうとする事。				○	○													
		一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする事。				○	○													
		健康・安全に気を配ること。				○	○													
		手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。						○												
		手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。							○											
		手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。								○										
球技	知識技能 思考判断表現 主体的に学習に取り組む態度	水泳の各種目において用いられる技術の名称や運動局面の名称があり、それぞれの技術や局面で、動きを高めるための技術的なポイントがあること。					○	○	○											
		泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。						○	○	○										
		水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする事。						○	○	○										
		分担した役割を果たそうとする事。						○	○	○										
		一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする事。						○	○	○										
		水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ること。						○	○	○										
器械運動	知識技能 思考判断表現 主体的に学習に取り組む態度	ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。										○								
		ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。												○	○					
		基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすること。										○								
		球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること。										○	○	○	○	○				
		攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。										○	○	○	○	○				
		球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとする事、作戦などについての話合いに参加しようとする事。										○	○	○	○	○				
武道	知識技能 思考判断表現 主体的に学習に取り組む態度	一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする事。										○	○	○	○	○				
		仲間の学習を援助しようとする事。											○	○	○	○				
		健康・安全に気を配ること。											○	○	○	○				
		切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと。															○		○	
		技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあること。															○		○	
		技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。															○		○	
保健（健康な生活と疾病の予防）	知識技能 思考判断表現 主体的に学習に取り組む態度	健康は、主体と環境を良好な状態に保つことにより成り立っていること、また、健康が阻害された状態の一つが疾病であること、また、疾病は、主体の要因と環境の要因とが相互に関わりながら発生すること。									○									
		主体の要因には、年齢、性、免疫、遺伝などの素因と、生後獲得された運動、食事、休養及び睡眠を含む生活上の様々な習慣や行動などがあること。環境の要因には、温度、湿度や有害化学物質などの物理的・化学的環境、ウイルスや細菌などの生物学的環境及び人間関係や保健・医療機関などの社会的環境などがあること。										○								
		運動には、身体各器官の機能を刺激し、その発達を促すとともに、気分転換が図られるなど、精神的にもよい効果があること。また、健康を保持増進するためには、年齢や生活環境等に応じて運動を続けることが必要であること。										○								
		食事には、健康な身体をつつとともに、運動などによって消費されたエネルギーを補給する役割があること。また、健康を保持増進するためには、毎日適切な時間に食事をすること、年齢や運動量等に応じて栄養素のバランスや食事の量などに配慮することが必要であること。										○								
		休養及び睡眠は、心身の疲労を回復するために必要であること、健康を保持増進するためには、年齢や生活環境等に応じて休養及び睡眠をとる必要があること。										○								
		心身の健康は生活習慣と深く関わっており、健康を保持増進するためには、年齢、生活環境等に応じた適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であること。										○								
保健（心身の機能の発達と心の健康）	知識技能 思考判断表現 主体的に学習に取り組む態度	健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康について、保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見すること。									○									
		健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康についての学習に自主的に取り組むこと。									○									
		身体は、骨や筋肉、肺や心臓などの器官が急速に発達し、呼吸器系、循環器系などの機能が発達する時期があること、また、その時期や程度には、人によって違いがあること。																		○
		思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器官の発達とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となること。																		○
		身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。																		○
		心は、知覚機能、情意機能、社会性等の精神機能の総体として捉えられ、それらは生活経験や学習などの影響を受けながら、脳の発達とともに発達すること。知覚機能については認知、記憶、言語、判断など、情意機能については感情や意思などがあり、それらは人や社会との様々な関わりなどの生活経験や学習などにより発達すること。社会性については、家族関係や友人関係などを取り上げ、それらへの依存の状況は、生活経験や学習などの影響を受けながら変化し、自立しようとする傾向が強くなること。																		○

1年 技術・家庭科 技術分野 年間指導計画

[illegible]

[illegible]

[illegible]